

市、「一部整備」を提案

「地元無視」と住民は反発

厚木市は同市岡田の相模川右岸堤防に計画する車道を当面、一部区間に限って整備する考えを11日までに地元住民に示した。整備区間は同市斎場から東名高速道路までの700㍎(幅員1㍎)と、堤防から市道厚木戸田線までの180㍎(幅員9㍎)。車道建設に反対する地元住民は、堤防道路の全面的な建設につながることを、白紙撤回を求めている。

道3・5㍎)の用地買収が難航しているため、市内の交通渋滞の解消を図って代

替案として計画された。しかし、堤防わきの住宅地を通るため、沿線住民が反対している。

市側は今年3日に開いた地元説明会で、一部区間の早期建設を提案した。建設の理由として、旧河川敷に土地を持つ地権者団体の要望があり、その土地利用を図るためと説明したとい

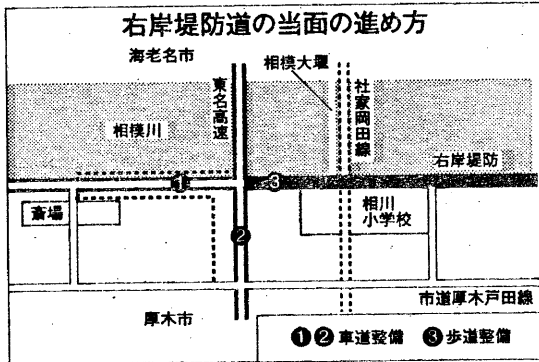
う。また、市側は早期整備に向けて地元との協議会を設ける意向を示した。

しかし、住民側は一部地権者の利便を図る早期建設に反発し、協議会を設置するならば、計画をすべて白紙に戻すことを要求した。

市は、国道412号バイパス(延長4320㍎)の開通(1994年3月)に伴って、県から旧国道(同4321㍎)部分の移管を求められているが、旧国道を引き受ける条件として、堤防道路を県道として整備するよう要望している。県側は住民の反対運動が起きている道路建設の引き受けに難色を示しており、住民側もこうした市の態度について、地元を無視したやり方と批判している。

【高橋 和夫】

右岸堤防道の当面の進め方



厚木市は同市岡田の相模川右岸堤防に計画する車道を当面、一部区間に限って整備する考えを11日までに地元住民に示した。整備区間は同市斎場から東名高速道路までの700㍎(幅員1㍎)と、堤防から市道厚木戸田線までの180㍎(幅員9㍎)。車道建設に反対する地元住民は、堤防道路の全面的な建設につながることを、白紙撤回を求めている。

右岸堤防道路は、相模大塚(厚木市岡田一海老名市社家)に併設される都市計画道路の社家岡田線(延長1550㍎、車道9㍎、歩